



青森県感染症発生情報 (2018年第28週)

I 第28週の発生動向 (2018/7/9~2018/7/15)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
5. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、B型1人でした。

II 第28週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減 数															
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点																
小児科 内科	インフルエンザ															1	0.02	0												
小児科	RSウイルス感染症															6	0.75	4	0.44	5	0.50			2	0.33	5	1.25	22	0.52	-4
	咽頭結膜熱															3	0.38	1	0.11	1	0.10	6	1.20	2	0.33			13	0.31	-4
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎															4	0.50	2	0.22	25	2.50	5	1.00	11	1.83			47	1.12	-4
	感染性胃腸炎															60	7.50	17	1.89	71	7.10	22	4.40	20	3.33	13	3.25	203	4.83	12
	水痘															2	0.25	1	0.11	1	0.10					2	0.50	6	0.14	-4
	手足口病															12	1.50	17	1.89	10	1.00	12	2.40	9	1.50	1	0.25	61	1.45	31
	伝染性紅斑																			1	0.10							1	0.02	0
	突発性発しん															6	0.75	5	0.56	7	0.70			4	0.67	2	0.50	24	0.57	12
	ヘルパンギーナ															2	0.25	9	1.00			4	0.80					15	0.36	2
流行性耳下腺炎															4	0.50			13	1.30			8	1.33			25	0.60	-1	
眼科	急性出血性結膜炎																										0			
	流行性角結膜炎																			1	0.50			1	0.50			2	0.18	-4
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)																											0		
	クラミジア肺炎																													0
	細菌性髄膜炎																													0
	マイコプラズマ肺炎																									5	5.00	5	0.83	-4
	無菌性髄膜炎																													0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

夏休みの海外旅行では感染症に注意しましょう

夏休みには海外へ渡航される方が多くなります。海外で感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防に関する方法を身に付けましょう。

渡航先や渡航先での行動によって異なりますが、最も感染の可能性が高いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症です。また、日本で発生していない、動物や蚊・マダニなどが媒介する感染症が海外では流行していることがあり、注意が必要です。予防接種を受けることができる感染症については、渡航前に余裕をもって医師にワクチン接種の相談をしておくなど、適切な感染予防を心がけましょう。感染症には、感染してから発症するまでの期間が数日から1週間以上と長いものもあり、帰国後しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その際は、早急に医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での職歴や活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などについて必ず伝えてください。

海外で注意すべき感染症

主な感染源	蚊・マダニなど	動物	人	食べ物・水
注意すべき感染症	マラリア※ デング熱 ジカウイルス感染症 チクングニア熱 黄熱※ ウエストナイル熱 クリミア・コンゴ出血熱 ペスト	鳥インフルエンザ 狂犬病※ MERS	麻しん※ 風しん※ ポリオ※	A型肝炎※ E型肝炎 コレラ 赤痢 腸チフス

注)※は予防接種を受けることができる感染症(マラリアは予防薬)

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [夏休みにおける海外での感染症予防について\(厚生労働省 HP\)](#)

海外 厚生労働省 検索



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前1人、八戸市1人、五所川原3人 (2018年計：102人)
- ・E型肝炎（四類全数把握対象疾患）：弘前1人 (2018年計：1人)
- ・レジオネラ症（四類全数把握対象疾患）：五所川原1人 (2018年計：3人)
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人 (2018年計：3人)
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：弘前1人 (2018年計：20人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（）内は、検査材料及び検体採取日です。 報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2018年第25週～2018年第28週)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
25	H30.6.18 ~ H30.6.24						
26	H30.6.25 ~ H30.7.1		百日咳1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
27	H30.7.2 ~ H30.7.8			梅毒1人			
28	H30.7.9 ~ H30.7.15		E型肝炎1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	レジオネラ症1人		

・第26週に八戸市保健所管内で、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1名届け出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018年第25週～2018年第28週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
25	H30.6.18 ~ H30.6.24	2	2			1	
26	H30.6.25 ~ H30.7.1	1	4			2	
27	H30.7.2 ~ H30.7.8	2		2	1	1	
28	H30.7.9 ~ H30.7.15		1	1	3		

・第27週に上十三保健所管内で、結核1名届け出がありましたので追加しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第27週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	10887	2	93	1064	18	11	220	510	7	4

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	1	1	1	39	1	1	89	65	93	2

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	23	1	1	868	2	428	111	862	14

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	390	10	109	404	643	39	256	22	2037	217

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	3409	93	52	28	3023	49	185	9

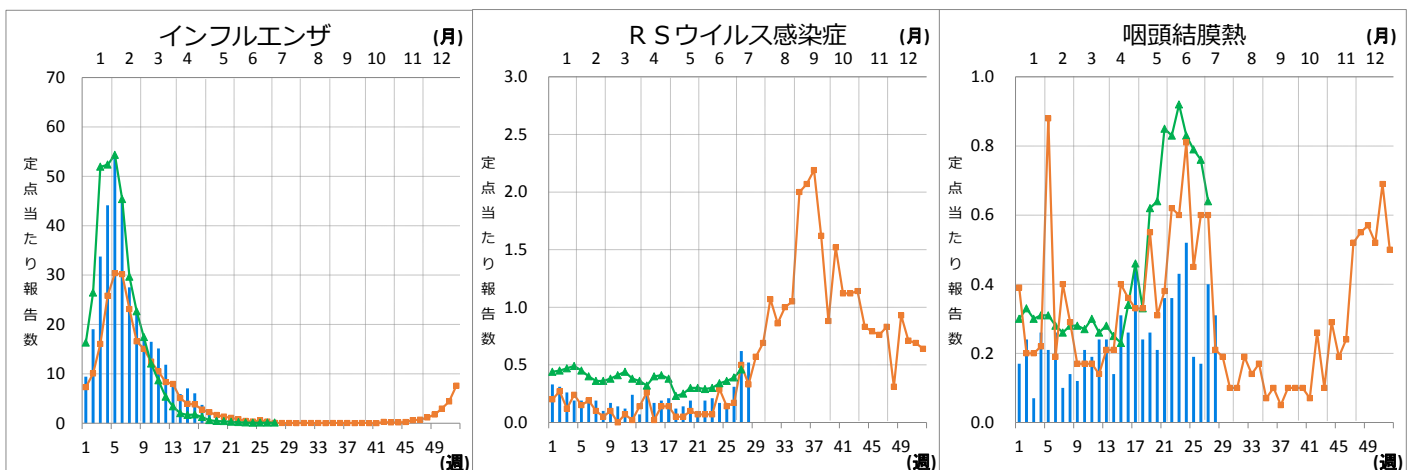
青森県（2018年第1週～2018年第28週までの累計）

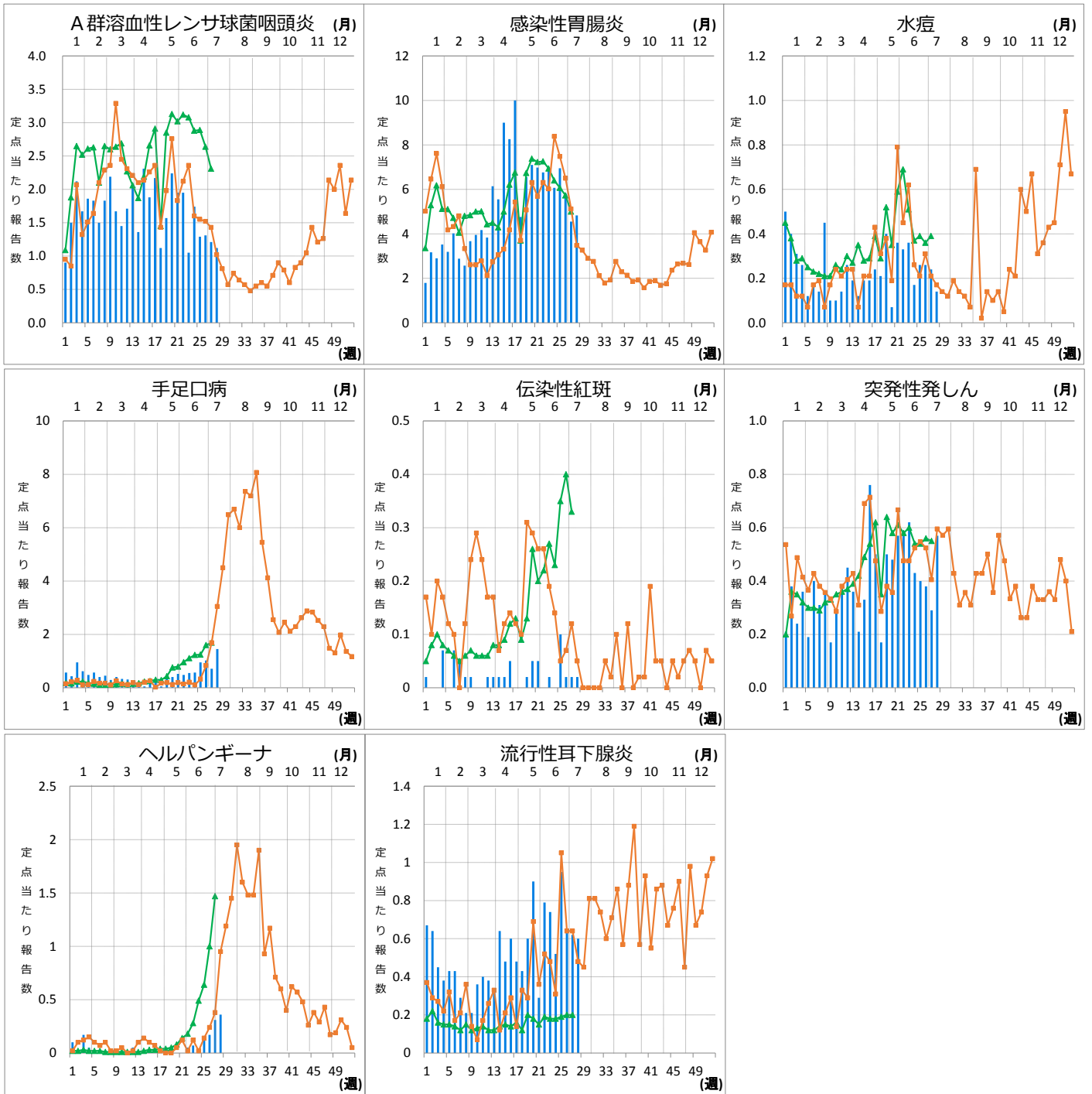
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	102	3	10	1	1	4	3	1	12	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	4	2	1	7	2	20	3	22

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第28週、ただし全国は前週）

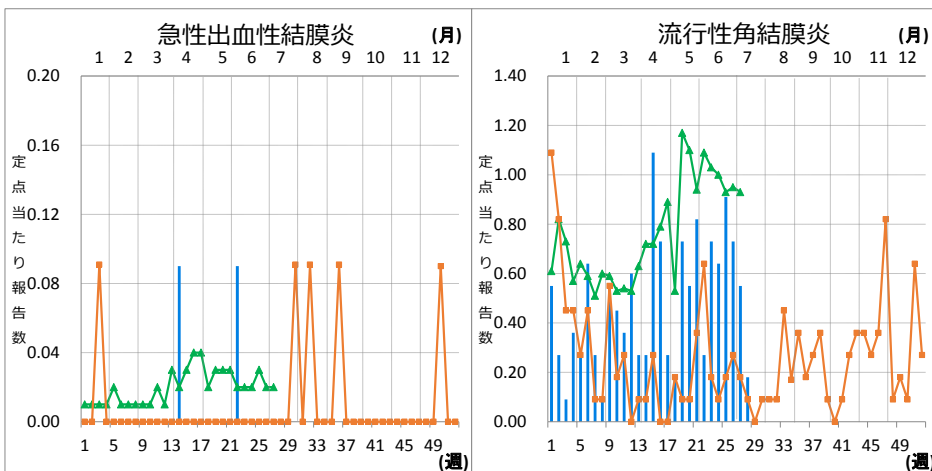
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





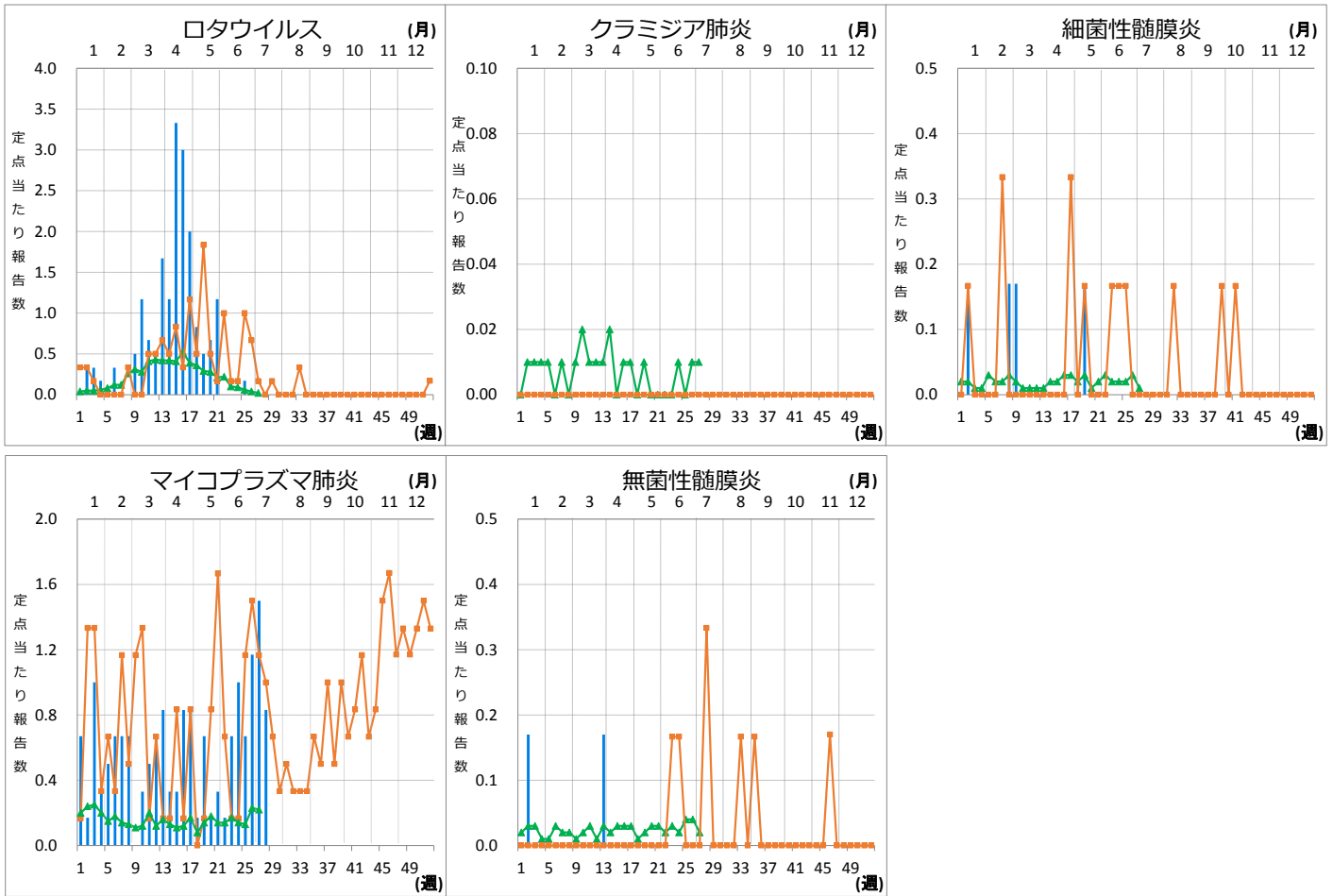
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第28週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第28週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第28週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26週	27週	28週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	212